

自治ひょうご

1625号

2023.3.

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

当面の日程

- 3日 連合兵庫春闘決起集会
(中央区文化センター/各地協サテライト会場)
- 7日 戦争させない、9条壊すな!5・3兵庫憲法集会
プレ集会(新長田文化センター)
- 11日 女性部・臨職評合同学習会(中央労働センター)
- 18日 県本部2023病院集会
(ひょうご共済会館/ウェブ開催)
- 18日 県本部男女がともに担う学習会(神戸市教育会館)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

公共民間協春闘学習会

定年引き上げ具体例交え学習

先進的事例を活かした取り組みを

県本部公共民間協は、春闘学習会を1月28日、ひょうご共済会館で第2回幹事会終了後、開催した。

学習会では、足立育生県本部副委員長を講師に迎え、現在県内の自治体で進んでいる定年引き上げの現状について講演を受けた。足立副委員長は、地方公務員の段階的な定年引き上げについて、法適用に加え、具体例を交え、再任用職員の処遇や年金支給状況など、わかりやすく解説した。

講演後の質疑応答では、協議会内の単組である国保労組が先進的に取り組んだ定年引き上げを実現する内容の報告を受け、自治体準拠の単組は国保労組の事例をもとにさらに取り組むを強化していくことを確認した。

学習会の後半では、津村崇夫事務局長より、23春闘方針の提起を行った。今春闘では「すべての単組は職場要求討議を行い、春闘期から要求提出、交渉を進め、雇用、賃金・労働条件、公



県本部役員と模擬交渉を実施

臨職評は1月28、29日の2日間の日程で、第2回幹事会・全単組代表者会議・学習会を3年ぶりに泊まりで開催した。

1日目は、神戸市教育会館で全単組代表者会議を開催し、春闘の取り組みや当面の闘争日程の確認、単組報告を行った後、戎剛県本部副委員長を講師に迎え「私たちの要求実現に向けて、基本的考え方、要求書の作り方」の学習会を開催した。必要なことを求めること(要求)を労働組合の基本と位置づけ、組合員

臨職評学習会

模擬団交で当局に迫る

要求への反映、組合員自身の取り組みに

の不满や愚痴、つぶやきを要求に昇華させ、組合員自身の取り組みにしていけることが強調された。参加者は事例を検討し、さらに要求提

出後のニュース、確認書までの流れを確認した。

学習後は、4つの課題(①勤勉手当支給②雇用止め撤廃③賃金表の上限撤廃④不

当賃下げ)のグループ協議を行い、要求書を作成した。

2日目は、要求書を受け、模擬団交を実施した。県本部役員を当局側にし、参加者全員が見つめる張り詰めた雰囲気の中、当局に迫った。

模擬団交終了後の講評では、北池宏光執行委員からは、要求事項の当局内部の共有状況の点検、森哲二書記次長は期末手当支給について、特別職である議員の支給状況の点検を促した。最後に足立育生副委員長から

本部中央委員会

物価高に対応しうる賃上げを

財源確保のためにも政治課題は重要

自治労第163回中央委員会が1月30、31日に東京で開催され、2023春闘方針をはじめ当面の闘争方針など、すべての議案が電子投票システムにより、賛

成多数で可決した。

川本淳中央執行委員長は「3年ぶりに対面で開催することができたが、ロシアによるウクライナ侵攻はまだまだ停戦の兆しは見えない。一刻も早く停戦されるよう、政府に対し要請を行っていきたい」とし、「2023春闘は物価高に対応しうる賃上げめざし、連合に結集し5%以上の賃上げを求める。さらに質の高い公共サービス維持に向け、人員要求と財源確保に取り組んでいかなければならない。そのためにも政治課題は重要。自治労の政策を理解する中道リベラル勢力の拡大をめざすとともに、統一自治体選挙での勝利を勝ち取る」とあいさつした。



講演する足立副委員長

共サービスの維持・改善をはかる」というスローガンのもとに、連合春闘白書、中小共闘の資料を活用し全単組での要求書の提出と交渉の実施について確認した。

兵庫からは経過報告で足立育生副委員長写真(1)が、この間、組織拡大を取り組んだ西脇市労連の取り組みや社協の組織化、現業公企闘争での成果として直営堅持の確認や新規採用再開を勝ち取った報告を行い、「会計年度任用職員のさらなる処遇改善と統一自治体選挙闘争に最大限取り組み」と発言し、討論に参加した。

今回の中央委員会では2



自治労 第163回中央委員会

020、2022年度に自治労新規加盟した47単組約1700人が確認され、兵庫からは尼崎社協労組と県社協共同募金労組、全国一般の4支部(六甲鶴寿園・さしる翠光会分会・大栄環・高砂工業(写真2))が紹介された。

川本委員長は、「コロナ禍でも社会の隅々まで光を当て、職務を全うしている地域公共サービス労働者に光を当てるのが自治労の使命」と述べた。今春闘は地域公共サービス労働者の賃金・労働条件に光を当てよう。そのために一人ひとりが「一隅を照らす」取り組みをしよう。

臨職評の地域ユニオンとの連携や最低賃金審議会への意見書提出など幅広い取り組みに対して激励し、集会を終えた。

しこう

卒業式インタビューでよく「将来どんな大人になりたい」とか「尊敬する人は誰」といった質問に「両親」と答える人が多い。私もその一人だが、両親以外なら中村哲さんと答える。彼は35年もの長きにわたり、パキスタンとアフガニスタンの人々の支援に取り組んできた福岡県出身の医師である。生前、中村さんが特に気に入って使っていた言葉は、2年前の自治労広島大会メインスローガンと同じ「隅を照らす」だ。「自分がいる場所で、自分ができることを一生懸命やろう」という意味らしい。大会でも社長の隅々まで光を当て、職務を全うしている地域公共サービス労働者に光を当てるのが自治労の使命」と述べた。今春闘は地域公共サービス労働者の賃金・労働条件に光を当てよう。そのために一人ひとりが「一隅を照らす」取り組みをしよう。

いまいち座

値上げシーズン到来



おやすみ漫

